



富小評価だより

令和3年5月28日 No.1
富岡市立富岡小学校

皆様には、本年度も学校評価アンケートでたいへんお世話になります。
今年度の学校経営方針をもとに評価項目を決めました。職員の1年間の努力目標になります。子どもたちのよりよい成長に向け、学校・家庭・地域が協働して教育活動に取り組んでいけるよう努力してまいります。
ご覧いただき、7月の第1回学校評価アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

令和3年度学校評価一覧表

教育目標の達成状況

評価の観点	評価項目
みんな仲良く	自分から進んで挨拶や返事ができる
	きまりを守って生活することができる
	相手の気持ちが分かり、親切にできる
	みんなで協力することができる
元気に運動	健康に気を付けて生活することができる
	進んで運動し体力を高めることができる
	安全に気を付けて生活することができる
	粘り強くやり抜くことができる
本気で勉強	将来の夢や志をもっている
	基礎的な知識及び技能を習得している
	知識・技能を活用し課題を解決できる
	主体的に学習に取り組むことができる

本年度の努力点についての評価 No.1

評価の観点	評価項目	方策
確かな学力向上	学力向上委員会の機能化を図り、本校の実態に応じた学力向上対策を組織的に継続する。	<ul style="list-style-type: none"> PDCA サイクルを意識した学力向上委員会の運営 児童の実態に基づく対策協議 校内研修の充実
	的確な実態把握に基づき、個に応じた指導・支援を充実し、生きて働く「知識・技能」の確実な習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> C R T 学力検査の結果活用 個に応じた補充・発展学習の充実
	必然性のある課題設定による体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 必然性のある課題設定を取り入れた授業の実施 問題解決的な学習の拡充 協働的な学習の工夫・改善
	学ぶ目的を明確にし、自ら考え、互いに高め合う児童主体の授業を通して、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態把握と教員同士の情報交換の充実 児童の発達段階に応じた学習支援の充実
	「わくわくスタディ」「学習の約束」の共通実践により、家庭と連携して、児童の主体性を高め、学習習慣・読書習慣・学習規律の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「わくスタ」「学習の約束」の全校共通体制での実施 Web ページによる「わくスタ」の内容や取組の周知
	小中9年間の学びのつながりを踏まえ、ALT や支援員を活用して生きた英語に触れる機会を充実させた授業を実践し、積極的にコミュニケーションを図る児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ALT、外国語活動支援員との計画的な打合せの実施 ALT、外国語活動指導員とのティームティーチング等による指導の充実 English Room をはじめとした、外国語に親しむ校内環境の整備
	タブレット端末等の ICT 機器を適切に用いて、問題解決的な学習や協働的な学習を充実させ、情報活用能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> タブレット機器のアカウント設定をはじめとした、使用環境の整備 情報部を中心とした、アプリや機器使用の情報共有
	「キャリアパスポート」の計画的な活用を通して、夢や志の実現に向け、個性を生かしながら自己成長を図るキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動を通じたキャリア教育の推進 「キャリアパスポート」の効果的な利用
豊かな心の育成	「特別の教科 道徳」を核とした道徳教育の充実により、発達段階に応じた道徳性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 考え、議論する道徳の授業、授業スタンダードの拡充 2年生以上でのローテーション道徳の実施 日常における道徳指導の充実
	「なかよし月間」「なかよし旬間」を核とした人権教育の充実により、人権感覚を磨き、人権尊重の精神を涵養する。	<ul style="list-style-type: none"> 「なかよし月間」「なかよし旬間」や愛校会を中心とした活動の充実 人権感覚チェックリストによる教職員の人権感覚の涵養 人権教育部会の定期的な開催
	「言葉を大切に学校」としての挨拶等の言語環境を整えるとともに、周囲に良い影響を与え合う望ましい人間関係を築き、互いに認め合い、高め合える学級経営を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通じたコミュニケーション能力の育成 共感的な児童理解と細やかな支援の充実 ホームページを通じて、学年・学級の取組を家庭に向けて積極的に発信
	生徒指導の三機能を自覚し、児童のよさを多角的・多面的に捉え、常に「積極的な生徒指導」を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 諸活動における計画的な活躍の機会の設定 ほめて伸ばす指導の徹底 学年会や生活支援委員会を核とした職員間の児童情報の共有

本年度の努力点についての評価 No.2

評価の観点	評価項目	方 策
豊かな心の育成	生活支援委員会を定期的に開催し、保護者との相互理解の下、いじめや不適応・問題行動等の早期発見・早期解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の観察や悩み調査等による問題の早期発見 ・ 学年間、管理職との連絡を密にした早期対応 ・ 生活指導委員会の機能強化と組織的対応
	SCや心の教室相談員との連携を深め、児童や保護者が安心して相談できる教育相談体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ SC来校日や教育相談体制の児童・保護者への周知 ・ 教職員とSCや心の教室相談員との連携及び教育相談能力の向上
健やかな体づくり	体育的活動の充実により運動習慣の定着と運動の質的・量的確保を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上プランの分析と来年度に向けての立案 ・ 集会や行事を活用し、運動することの楽しさを十分に味わえるレクリエーションの実施 ・ 体育部を中心に、教材や指導方法、場の設定について情報交換を行いながら運動の質的・量的確保を図る。
	感染予防を核とする健康教育や食育の充実により、基本的な生活習慣や望ましい食習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の新しい生活様式における感染症対策の徹底 ・ 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着
	安全教育の充実により、自他の生命や健康を守る危険予測・危機回避能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教室や避難訓練等による安全意識の高揚 ・ 生活安全指導を通じた危険予測・危険回避能力の育成
組織的で活力ある学校づくり	本校の教育課題や地域の実態に応じた特色ある教育課程をマネジメントする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価の分析と改善策の実行 ・ 保護者や地域と連携した学習活動の充実
	「人事評価制度」や「教員育成指標」の適切な運用により学校経営参画意識を高め、職員一人一人が自分の役割を自覚するとともに、組織的に学校運営に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営方針や努力点に基づく職員一人一人の役割の自覚 ・ 各種委員会、教科部会等における組織的取組の強化 ・ 経営方針とリンクした業績評価の目標設定 ・ 面談機会の活用と進捗状況の報告、確認
	「規律確保行動計画」に則り、服務規律を遵守し、常に教育公務員としての使命感と責任感をもって職務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律委員会の定期的な開催 ・ 「服務規律チェックリスト」による毎月の確認
	校内研修を核として職員研修の充実を図り、教職員の指導力の向上を図るとともに、互いに高め合う同僚性あふれる職員集団づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修の模擬授業・研究授業や一人1授業を通じた指導力の向上 ・ 教職員の資質向上を目指した研修の実施 ・ 教職員一人一人のよさを発揮できる場の設定
	特別支援Cを核として、児童一人一人のニーズに応じた支援を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズの把握と個別的教育支援計画の活用 ・ 学校全体の共通理解と組織的な対応
	言語指導教室における指導の充実により、通級児童の実態に応じた課題解決を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同研修や教室研修における実践研修を通じた指導力の向上 ・ 個々の障害の状態に応じた指導と個別の指導計画の活用
	令和4年度の家庭科関係プロ大会に向けて、実践的研究の深化と円滑な大会運営準備を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年ブロックを中心とし、生活科、道徳、家庭科の質的向上を目指した研修の実施 ・ 関係プロ大会を見据えた運営準備、資料準備の推進
地域に根ざした信頼される学校づくり	東中学校及びこども園等との連携による系統性・一貫性・連続性のある指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中連携事業の実施 ・ 幼保小こ連携推進会議による共通理解と共通行動の実施
	Web ページや各種通信等を活用し、本校の取組を家庭・地域へ積極的に配信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ web ページによる行事や日常の様子等の情報提供 ・ 各種便りによる情報提供
	学校評価や学校評議員制度を活用し、保護者や地域からの情報を収集・分析することで、学校課題を把握し改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価、学校評議員からの情報収集・分析による課題の明確化 ・ 業務改善の視点からの学校評価の実施 ・ 改善策の計画的で確実な実行
	学校家庭地域連携推進会議の実施により、学校課題について熟議し、協働できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中の連携の充実を図るために、家庭や地域からの情報を収集する ・ 「開かれた学校」のもと地域、家庭、学校が学校課題を共通理解した、同一歩調による実践
健康で安全・安心な学校づくり	スクールサポートボランティア「とみさぼ」の充実を図り、年間指導計画を踏まえて、外部人材を積極的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員、PTA、保護者に対する「とみさぼ」の活動の周知 ・ 「とみさぼ」に参加する外部人材の新たな発掘 ・ 「とみさぼ」の年間指導計画の作成
	感染防止マニュアルや学校安全管理マニュアルの共通理解により、危機管理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食物アレルギーやアナフィラキシーへの適切な対応方法の確認 ・ 様々な事態を想定した避難訓練の実施
	学校施設設備や通学路の安全点検を徹底し、迅速に問題点を改善する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎内外の毎月の点検の徹底 ・ 通学路の安全確認と安全マップの見直し
働き方向上	適切で効果的な予算執行により、教育環境の最適化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員連携、情報交換を密にし、課題箇所の早期発見、現場確認、改善を進める。 ・ 備品・物品等の保管場所を明確化して活用促進・計画的廃棄を進める。
	働き方改革を着実に進め、さらなる校務の効率化・マニュアル化を図り、持続可能なシステムづくりを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事量適正化、総量規制、適切な仕事分担による加重負担解消をすすめる。 ・ 組織全体を俯瞰し、「マニュアル化」「データ共有(一元)化」、「ペーパーレス化」を推進する。
	勤務時間の適正な管理により、職員のワークライフバランス（ベスト・エデュケーション/ベスト・コンディション）やメンタルヘルスの保持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在校等時間記録表による勤務時間の管理の徹底 ・ 7to7、19:00 完全退庁の実施 ・ 定時退勤日（クリーンタイムα）の徹底